



御文をいただく 其の七十一

五帳目第十通②

聖人 一流の御勸化のをもむきは信心
 をもて本とせられ候 そのゆへはもろもろ
 の雑行をなげすてて一心に弥陀に帰命すれ
 ば不可思議の願力として 仏のかたより往
 生は治定せしめたまふ そのくらいを一念発
 起入 正定之聚とも釈し そのうへの称名念
 仏は如来わが往生をさだめたまいし御恩報尽
 の念仏と ころうべきなり あなかしこ あな
 かしこ

今日のことば!

煩惱の心を客人とし
 念仏の心を
 主人とすべし

法然上人

仏のかたより往生は治定せしめたもう。この気づきが浄土真宗では大事なもののだなと最近では思わせてもらつてます。念仏に基づかないことを一生懸命止めようとしても止められず、それ以前に何が雑行なのかもさつぱり見当がつかなくて途方にくれていても、そんなことに何にも関心を持たずただただその日暮らしをしていようが、仏、すなわち阿弥陀如来様は往生させようさせようとする人に合ったはたらきをしてくださつていのです。ただそのおはたらきがこの上なくありがたいと思えるのは二心なく一心に弥陀如来にたすけてと深く願うときなのでしよう。弥陀如来が私を救つてくださつてい、救



彼岸会 兼 城端別院 巡回法座

日時 3月22日(日) 午後1時30分より4時まで(予定)

会場 常入寺本堂 布教使 正門 武士師

参加費 無料(ただし、何度かお賽銭を集めさせていただきます)

また、城端別院への祠堂並びに万人講の受付をいたします。

同居されているかたがおられるのならば、できますれば皆さんでお読みください

老田仏教会釈尊降誕会

(はなまつり：お釈迦さまの誕生日)

日時 4月4日(土) 午後1時30分より3時まで

会場 専称寺(中老田) どなたでもお参りできます是非お参りください



煩惱の心を客人とし

念仏の心を主人とすべし

この言葉は親鸞聖人のお師匠様、法然上人のお言葉です。実は似たような言葉を以前聞いたことがあります。それは蓮如上人の「仏法をあるじとし、世間を客人とせよ」という言葉です。法然上人の方が古い方ですので、たぶん蓮如上人が法然の上人の言葉を受けて書かれたのでしよう。主人ですから使えるべき存在、一番大事にしないといけない存在が念仏の心

や仏法と言われるものなのでしよう。そして客人は無視して良いというわけではなく、ある程度のおっ気合いをしていかないといけないけど、客人と主人を比べれば渡欧前主人のいうことを聞かないといけない存在なのでしようね。それが煩惱の心や世間の常識なのでしよう。何を一番にしないでいくことが大事なのでしよう。

井波別院別院巡回布教が

勤まりました

2月23日、常入寺本堂を

会場として井波別院巡回法座が勤まりました。御法宝物として瑞泉寺草庵の軸、御供として列座の三牧準備さんがお越し下さりお説教を下さいました。

お話しは、法宝物にあわせて瑞泉寺が創建されたときのこと、そして三牧さん

は珠洲市のお寺の生まれだそうですが、二年前の能登地震で本堂が半壊、住居部分が全壊されたそうです。三牧さん自身は事後とて魚津におられ、ご両親とお連れ合いさんは珠洲のお寺におられたそうです。地震後中々珠洲に行けなかったもどかしさをお話しくださったり、今は住宅部分をどうするかというのを両親と話し合っているが、中々答えがでないというつらさもお話しくださりました。



【あとがき】気がつけばもう3月、当たり前のことですが新年が明けて二ヶ月以上が過ぎてしまったのですね。春本番を迎えていますね。そう言う意味で力強さを感じる季節といっても良いのかもしれない。同時に雑草と言われるものも春を迎え元気になってきますね。ちよっとため息がわきます。私たちの体も心も春モード、軽やかに動き出します。さて何しましうか。何したいですか？



発行 真宗大谷派 常入寺

電話 930-0161 富山市東老田787
就職携帯 (076) 436-0816
発行責任 青井 和成
090-3764-3983



LINEはこちらから↓

- ✓お参りの変更
- ✓法事の相談
- ✓その他

